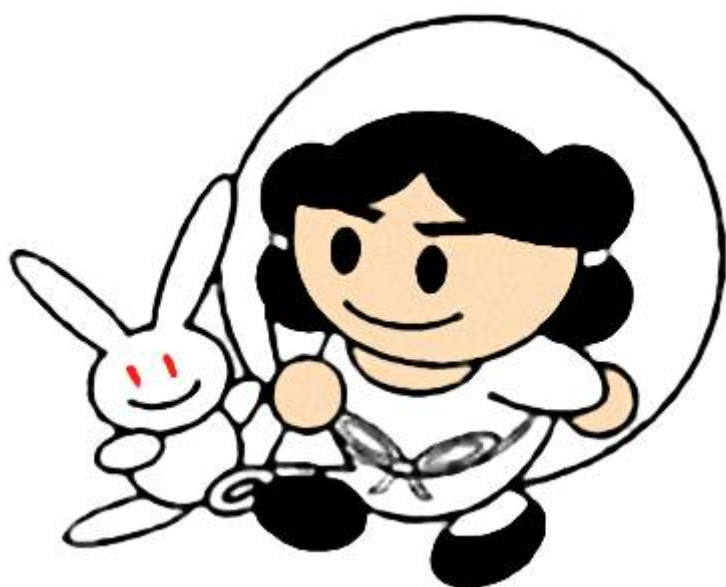


ミニディスクロージャー

鳥取いなば農業協同組合

2011



はじめに

日頃より、皆さまにはJA鳥取いなばの各事業におきまして格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたびJA鳥取いなばは、経営の透明性を高める観点などから、平成23年度の半期決算の情報を開示するとともに、それまでの活動状況をまとめたミニディスクロージャー誌を作成いたしました。

このディスクロージャー誌を通じて、皆さまのJA鳥取いなばへのご理解が一層深まることを願っております。



JA鳥取いなばホームページ

<http://www.jainaba.com/>



いなばのええもん届ける便

<http://www.jainaba.net/>

JA鳥取いなばではホームページを開設し、産地から食や農業についての正しい情報発信に努めるとともに、地域におけるJAの役割と農業に対する理解が得られるように、豊富なコンテンツを展開しております。

■事業のトピックス■

✚ 地場産プラザ「わったいな」オープン

地場産プラザ「わったいな」が6月18日に鳥取市賀露町にオープンいたしました。

当施設は、県下全域の食を取り集めた一大グルメゾーンであるだけでなく、食のみやこ鳥取の新たな情報発信基地としてもその活躍が期待されています。

一方で、JA鳥取いなば管内の直売所では新たな取組みを模索しています。これまで以上に安心して利用していただける施設を目指し、出荷農産物の生産記録日誌の確認を徹底し、安全・安心な農産物の提供に努めてまいります。



生産者のフィールドが広がります。

✚ 新規採用職員入所

平成23年度新規採用職員入所式が4月1日行われ、31名の新規採用職員ひとり一人に辞令が手渡されました。

入所式を終えた新規採用職員は4月27日まで研修を行い、4月28日に配属辞令が交付されました。

今年度は支店の渉外体制の強化を目的に新たなカリキュラムが組まれています。通常の研修期間とは別に、金融部門の中心となる部署で約1ヶ月間勤務し、金融全体の動きを体感した後に、各現場の業務に就くものです。



✚ 「鳥取のはとむぎ茶」の完成を県知事に報告

JA鳥取いなばは8月1日、鳥取県庁を訪れ、「鳥取のはとむぎ茶」の完成と販売開始を平井伸治鳥取県知事に報告しました。

鳥取のはとむぎ茶は、ハトムギ生産者、健康茶製造会社、JA鳥取いなばの農商工連携によって誕生しました。原料に同JA管内で転作作物として生産されたハトムギなど、地元産及び国産の原料を使い製造されています。

ハトムギは薬膳として用いられることもあり、お茶原料など国内産需要が高まっています。転作作物として近年作付面積が増加しており、今年度は担い手、集団を中心に25ヘクタールで栽培。約45～50トンの収穫が見込まれております。



✚ 被災地への役職員の派遣と支援活動の実施

全国のJAグループの取組みに呼応し、県下JAグループで支援隊を結成、JA鳥取いなばからもボランティアメンバー3名が7月25日～同29日まで被災地へ赴きました。

宮城県石巻市では、石巻ボランティアセンター所属の方の下で、避難所となっていた公民館の清掃作業、亘理町ではJAみやぎ亘理の営農指導員の下で管内の苺のは場整備などを行いました。

■ 事業の概況 ■

1. 主な事業実績の推移

(単位:千円)

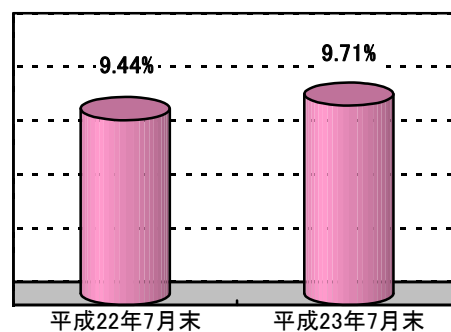
項目	平成 21 年 7 月末	平成 22 年 7 月末	平成 23 年 7 月末
貯 金	166,055,268	162,356,075	163,015,658
貸 出 金	36,764,042	38,319,610	38,999,898
預 け 金	100,231,644	99,810,347	102,762,979
有 価 証 券	15,100,232	10,196,263	7,314,342
長期共済保有高	1,014,661,260	972,717,570	937,662,700
事業総利益	2,296,399	2,284,298	2,205,481
信用事業総利益	674,879	716,098	668,498
共済事業総利益	779,545	728,520	713,184
購買事業総利益	613,654	524,093	510,092
(購買事業取扱高)	(6,126,595)	(5,921,328)	(5,879,816)
販売事業収益	70,358	74,340	71,204
(販売事業取扱高)	(2,890,186)	(2,946,872)	(2,839,934)
その他事業総利益	136,684	230,614	225,281
指導事業収支差額	21,279	10,633	17,220
経常利益	54,112	33,608	△1,525
当期剰余金	△15,040	25,081	△5,005

2. 自己資本比率について

自己資本比率とは、経営の健全性を示す指標の一つで、JAが保有する貸出金や有価証券等のリスクがある資産に対して出資金などの自己資本がどれくらいあるかを示し、自己資本比率は数字が高いほど、一般的に「体力」があると考えられています。

JAは自主ルールにより基準を8%以上(国内基準は4%)と独自に健全性のハードルを高くしています。

自己資本比率の推移



平成23年7月末現在

自己資本比率 **9.71%** (単体)

自己資本額 **6,325,024 千円**

(注)平成23年7月末の自己資本比率は、平成23年1月末の自己資本額、信用リスクアセット額を基準として、7月末までの資産増減から推計される増減額を加減して算出しています。なお、オペレーショナルリスク相当額、信用リスクアセット額の一部については、平成23年1月末の計数を用いて算出しています。

3. リスク管理債権について

リスク管理債権とは、貸出金のうち元本又は利息の支払の遅延が継続している等一定の条件に該当するものです。

(単位:百万円)

区 分	平成23年1月末	平成23年7月末	増 減
破綻先債権額	69	66	△3
延滞債権額	1,394	1,174	△220
3ヶ月以上延滞債権額	-	-	-
貸出条件緩和債権額	24	43	19
合 計	1,487	1,283	△204

(注)各債権区分額は、平成23年1月末時点の債権額を基準として、平成23年7月末時点の残高に修正しています。

用語の説明

① 破綻先債権

元本または利息の支払の遅延が相当期間継続していること、その他の事由により元本又は利息の取り立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金をいいます。

② 延滞債権

未収利息不計上貸出金であって、①に掲げるもの及び債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外の貸出金をいいます。

③ 3ヶ月以上延滞債権

元本または利息の支払が約定支払日の翌日から3ヶ月以上延滞している貸出金(上記①及び②に掲げるものを除く)をいいます。

④ 貸出条件緩和債権

債務者の再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取り決めを行った貸出金(上記①、②及び③に掲げるものを除く)をいいます。

4. 有価証券の時価情報

満期保有目的で時価のあるもの

(単位:百万円)

種類	平成23年7月末				
	貸借対照表 計上額	時価	評価差額	うち	
				益	損
国債	0	0	0	0	0
社債	300	247	△53	0	53
合計	300	247	△53	0	53

その他の有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

種類	平成23年7月末				
	取得原価 (償却原価)	貸借対照表 計上額	評価差額	うち	
				益	損
国債	40	40	0	0	-
地方債	179	186	6	6	-
政府保証債	100	101	1	1	-
金融債	200	202	2	2	-
特別法人債	1,600	1,651	50	50	-
社債	4,604	4,646	△10	85	96
受益証券	500	485	△14	-	14
合計	7,225	7,314	35	146	111

(注1)時価は、平成23年7月末日における市場価格等に基づいております。

(注2)平成23年度7月末における売買目的有価証券及び金銭の信託はありません。

5. 貸借対照表(平成23年7月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
1. 信用事業資産	150,679,628	1. 信用事業負債	163,988,023
現金	1,266,472	貯金	163,015,658
預金	102,762,979	借入金	538,900
有価証券	7,314,342	その他の信用事業負債	433,464
貸出金	38,999,898	2. 共済事業負債	1,420,214
その他の信用事業資産	575,190	3. 経済事業負債	2,936,256
貸倒引当金	△239,256	4. 設備借入金	1,546,092
2. 共済事業資産	59,234	5. 雑負債	219,648
3. 経済事業資産	5,334,164	6. 諸引当金	1,769,686
4. 雑資産	2,822,403	負債の部合計	171,912,058
5. 固定資産	14,349,630	(純資産の部)	
有形固定資産	14,336,779	1. 組合員資本	6,301,810
建物	19,211,117	出資金	6,545,810
機械装置	4,798,634	利益剰余金	△176,996
土地	6,715,842	その他利益剰余金	△176,996
建設仮勘定	1,465	(うち当期剰余金)	(△5,005)
その他の有形固定資産	1,323,118	処分未済持分	△67,003
減価償却累計額	△17,463,338	2. 評価・換算差額等	61,500
減損損失累計額	△250,061	純資産の部合計	6,363,311
無形固定資産	12,851		
6. 外部出資	5,030,310		
外部出資	5,756,397		
外部出資損失引当金	△726,087		
7. 繰延税金資産	-		
資産の部合計	178,275,369	負債及び純資産の部合計	178,275,369

6. 損益計算書(平成23年2月1日から平成23年7月31日まで)

(単位:千円)

科目	決算額	科目	決算額
1. 事業総利益	2,205,482	特別事業総利益	2,663
信用事業総利益	668,499	指導事業収支差額金	17,220
信用事業収益	866,508	2. 事業管理費	2,225,997
信用事業費用	198,009	人件費	1,375,639
共済事業総利益	713,185	旅費	1,884
共済事業収益	761,888	業務費	248,353
共済事業費用	48,703	諸税負担金	123,108
購買事業総利益	510,092	施設費	223,604
購買事業収益	6,033,182	償却費	243,639
購買事業費用	5,523,089	その他費用	9,768
販売事業総利益	71,204	事業利益	△20,516
販売事業収益	2,864,991	事業外収益	222,646
販売事業費用	2,793,787	事業外費用	203,655
農業倉庫事業総利益	6,074	経常利益	△1,525
加工事業総利益	25,171	特別利益	57,644
利用事業総利益	105,427	特別損失	56,791
旅行事業総利益	11,547	税引前当期純利益	△670
葬祭事業総利益	73,830	法人税・住民税及び事業税	4,335
宅地等供給事業総利益	566	当期剰余金	△5,005

平成23年7月に発覚した不祥事件について

当組合経済部旅行センターにおいて、架空取引による航空券発券換金着服事件が発生しました。

今回の事件はJAへの信頼を失わせる行為であるとともに、組合員・利用者の皆様には多大なご心配をおかけしましたことに、衷心よりお詫び申し上げます。

すでに調査を実施し原因の究明を行い、当事者については懲戒解雇しております。また、被害額については当事者から全額弁済されJAへの被害はございません。

今後は不祥事再発防止計画に基づき管理体制の一層の強化を図り、信頼回復のため役職員一丸となって誠心誠意取り組みます。

1. 農業協同組合において中間決算での情報開示は法定化されていないため、当組合では本決算に準じた手続により仮決算を実施し、自主的に開示しております。
2. 本冊に掲載している計数は、単位未満を切り捨て表示しておりますので合計と一致しない場合があります。
3. 期末残高が無いものについては「-」で表示しております。

鳥取いなば農業協同組合

〒680-0824 鳥取県鳥取市行徳 1-103
TEL. 0857-32-1100(代) FAX. 0857-32-1130
HP. <http://www.jainaba.com/>

平成23年10月発行 編集. 企画管理部企画管理課